

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年4月1日

計画の名称	25 長岡市 I Cアクセス道路整備		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	長岡市
計画の目標	長岡北スマート I Cの整備に合わせた I Cアクセス道路等の整備を実施することによる利便性の向上、さらには周辺道路の交通渋滞の緩和や安全性を確保し、魅力的なまちの形成を行う。		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路 I Cまで15分で到達できる「15分圏域人口」を増加させる。</li> <li>・長岡北スマート I Cの利用台数2,300台/日 (H29末) へ向け、利用促進を図る。</li> <li>・寺泊、和島、与板、三島地域における観光入込客数を3,240千人/年 (H23) から3,850千人/年 (H29末) へ増加させる。</li> </ul>
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考	
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)		
① 長岡北スマート I C、長岡南越路 S I C、長岡 I C、中之島見附 I C、西山 I Cへの15分圏域人口を調査する。	197千人		239千人		
② 長岡北スマート I Cにおける1日当たり平均利用台数を調査する。	-		2,300台/日		
③ 長岡市寺泊、和島、与板、三島地域における年間観光入込客数を調査する。	3,240千人/年		3,850千人/年		
全体事業費	合計 (A+B+C) 4,027 百万円	A 3,948 百万円	B 0 百万円	C 79 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 2.0%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
長岡市において評価を実施	-
公表の方法	長岡市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
25-A1	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	新設	(他) 上川西144号線ほか	スマートICアクセス整備 L=1.4km	長岡市						1,646	
25-A2	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 西幹線82号線	道路改良 L=0.4km	長岡市						126	
25-A3	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 西幹線82号線ほか	道路改良 L=7.1km	長岡市						395	
25-A4	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 上川西147号線ほか	スマートICアクセス整備 L=1.09km	長岡市						714	
25-A5	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(1) 西幹線81号線ほか	道路改良 L=2.3km	長岡市						877	
25-A6	街路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 越路191号線ほか	道路改良 L=4.8km	長岡市						190	
小計 (道路事業)															3,948		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計															0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
25-C1	道路	一般	長岡市	直接		側道整備	長岡北スマートICアクセス路側道整備事業	側道整備 L=0.3km	長岡市						55	
25-C2	道路	一般	長岡市	直接		計画策定	IC関連広域幹線道路計画検討事業	交通円滑化計画策定N=一式	長岡市						24	
合計											79					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
25-C1	(他) 上川西144号線ほかの道路整備にあわせて、農道機能としての側道を整備することにより、農耕車と一般車両の交通を分離し、安全な交通空間を確保する。															
25-C2	長岡都市圏の広域的かつ効果的な道路整備を行うために、高速道路の活用を含めた将来道路計画を策定する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡北スマートICの完成に合わせたICアクセス道路等の整備を計画どおりに実施したことで、高速道路の利便性が向上し、高速道路の利用が促進された。</li> <li>・今後見込まれる交通量に合わせた道路改良や側道整備等を行い、円滑で安全・安心な道路交通が確保された。</li> <li>・工業団地と高速道路ICまでのアクセス性が向上し、産業活動の支援に貢献した。</li> <li>・長岡ICから寺泊までの所要時間が短縮するなど、広域観光支援に貢献した。</li> </ul>									
II 定量的指標の達成状況				指標①（高速道路ICへの15分圏域人口）		最終目標値	239千人	目標値と実績値に差が出た要因	-				
						最終実績値	239千人						
				指標②（長岡北スマートICにおける1日当たり平均利用台数）		最終目標値	2,300台/日	目標値と実績値に差が出た要因	計画的で効果的な事業実施による高速道路の利便性向上や周辺道路の円滑化等のほか、効果的なPRにより、目標を上回る利用が図られた。				
						最終実績値	2,770台/日						
				指標③（寺泊、和島、与板、三島地域における年間観光入込客数）		最終目標値	3,850千人/年	目標値と実績値に差が出た要因	長岡ICから寺泊までの所要時間が短縮し、観光入込客数減少の抑制に寄与したが、天候不良や貸切バス規制強化など、計画当初に予測できなかった事態の発生等により、目標を達成できなかった。				
						最終実績値	3,027千人/年						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)													
3. 特記事項（今後の方針等）													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和や安全性の確保に向け、事業継続中の箇所を含め、計画的・効率的な事業を実施する。</li> <li>・寺泊へのアクセス道路整備や観光地へのアクセス情報の発信などを行い、観光を促進する。</li> </ul>													

計画の名称	25 長岡市ICアクセス道路整備	交付対象	新潟県長岡市
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)		

